

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 6 月 10 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 5 月 15 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ニューヨーク州立大学バッファロー校(日本語名) University at Buffalo 通称 UB(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月下旬～5 月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	32,000
創立年	1846

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (米ドル) (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	9,500	円	
食費	1,700	円	基本自炊/外食費込み
図書費	140	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	210	円	MintMobile(格安 SIM)
現地交通費	0	円	その他(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	220	円	Nagara Falls/Canada trip (日帰り)
旅費(留学中)		330,000 円	NYC/Disney(FL)/Cancun
被服費	430	円	Black Friday でアウトレットおすすめ
医療費	0	円	
保険費	2,118	円	形態: UB+明治 (UB も強制加入)
渡航旅費		300,000 円	
ビザ申請費		70,000 円	
雑費	620	円	到着後初期費用など
その他	3,865	円	StudentActivity/CareerService/Transportation fee など計 11 項目。在籍する上で全員請求される。
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	18,803 (=2,820,450 円)	700,000 円	
総計(A+B) ※円		3,520,450 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：バッファロー・ナイアガラ国際空港 経由地：アトランタ空港

復路 出発地：バッファロー・ナイアガラ国際空港 目的地：羽田空港 経由地：デトロイト空港

渡航費用

- ① 往復チケットを購入した場合
航空会社：デルタ航空
料金：30万

- ② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社:	料金:	
復路 航空会社:	料金:	∴合計:

航空券購入方法

- ☐ 旅行代理店(店名:)
- ☐ インターネット(サイト名:)
- ☒ その他(Fly Delta)

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)

- ☒ 学生寮(寮の名前: Ellicott の Fargo という建物) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

- ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1 人)

3) 共有部分

- ☒
- バス
- ☒
- トイレ
- ☒
- キッチン(
- ☒
- 自炊可
- ☐
- 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

学校から送られてくるフォームから

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

清掃員がほぼ毎日いるため、基本的にきれい。バスルームのペーパータオルやハンドソープも常備されているし、廊下にゴミ箱もあるため便利。キッチンが2階ごとにしかないのが欠点。自前の冷蔵庫は各自部屋に設置可能。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: はじめ住んでいたアパートでのルームメイトの問題。Keith という国際事務室の職員やアパートの学生スタッフなどに相談し、寮に移ることができた。ただそれに 1 か月ほどかかった。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

学内は学校警察もいるためかなり安全。その他防犯として夜には学外に行かない、現地の友達と行動するなどした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮や学校の Wifi はかなり優秀だったので一か月 5GB の契約で足りた。2 度ほど停電が起きて使えなくなったが基本的に接続は安定していた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Wise カードというデビットカードを使っていた。日本の銀行から送金できるので便利だった。現金は 200 ドルほど持って行ったが、最初の秋学期でほぼ使ってしまったため、学内の ATM で引き出していた。ただ手数料が毎回 3 ドルかかるので、現金はもう少し持っていくべきだった。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

歯ブラシ(アメリカのは大きすぎる)、洗濯ネット、化粧水など その他調味料やふりかけ、インスタントみそ汁は売っているが高い。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
SOC211 Sociology of Diversity	社会学: ダイバーシティ
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に80分が2回
担当教授	Sarah Ford
授業内容	アメリカの人種差別、男女不平等、人種による生活水準の違いについて学ぶ。
試験・課題等	毎週指定されたページを読んで考えたことをオンライン上でコメントする。テストはなく、定期的にレポート課題があり、期末もレポートだった。
感想を自由記入	この授業のなかで特に記憶に残っているのは、人種差別や人種による住む場所の制限、それによる環境や治安の格差について学んだことだ。クラス内にさまざまな人種の生徒がいる中で実際にあった/現在も続く差別について学ぶことに初めかなりの違和感と驚きがあったが、とても深くまで学べてよかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
APY275 Culture Health and Illness		人類学:文化、健康、病気
科目設置学部・研究科	Anthropology	
履修期間	Fall	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Meghana Joshi	
授業内容	アメリカと世界の歴史から、健康や病気について学ぶ。文化や人種によって異なる健康に対する意識や、医療アクセスの格差について文献やビデオを見ながら理解を深める。	
試験・課題等	ビデオ鑑賞後のレポート課題、期末レポート課題	
感想を自由記入	これまで日本で暮らす中で当たり前に関医療機関を利用できていたが、保険に加入していないことから医療機関を受診できず平均寿命が短い国、地域があったり、乳児死亡率が高かったりという現実を知ることができた。その中で日本の高い医療技術を例に挙げられることもあり、日本を客観的に見ることができたことがよかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
COM240 Introduction to Mass Communication		コミュニケーション:マスコミについて
科目設置学部・研究科	Communication	
履修期間	Fall	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Yotam Ophir	
授業内容	マスメディアが人々に及ぼす影響について知る。またニュース報道番組の偏向報道や戦時中の情報の広まり方について学ぶ。	
試験・課題等	数回のレポート課題	
感想を自由記入	マスメディアの発展の歴史をたどりながら、人々の生活にどう影響してきたか学ぶことはとても興味深かった。特に話題になったニュース事例を挙げて学ぶことは理解がしやすかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
HIS240 Alcohol and Other Drugs in U.S. History		歴史: アメリカの歴史におけるアルコールとドラッグ
科目設置学部・研究科	History	
履修期間	Fall	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	David Herzberg	
授業内容	アメリカのアルコール飲料の歴史と、ドラッグの医療における使用と中毒者の歴史について学ぶ。	
試験・課題等	授業中のクイズ、毎週のレポート課題、期末レポート	
感想を自由記入	日本にはないドラッグという文化があるアメリカで、その歴史を学んでみたいと思い履修した。ドラッグは医療用として使われ始めたものの、その服用から中毒になってしまったケースがかなり多かったことを知り驚いた。専門用語が多いのに教授の話スピードがかなり早く、最初は大変だったがなんとか頑張った。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
JPN496 Internship/Practicum		日本語クラスのインターンシップ
科目設置学部・研究科	Linguistics	
履修期間	Fall	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 6 回	
担当教授	Mitsuaki Shimojo	
授業内容	日本語クラスの TA として週 2 回クラスに参加する。またチューターとして週 4 回チュートリアルに参加し生徒の対応をする。さらに月 1 の日本語の交流会で、日本の文化についてチューター全員でプレゼンテーションをしたりアクティビティをしたりする。	
試験・課題等	期末レポート	
感想を自由記入	日本語の初級クラスに参加し、日本語学習者がどのような点で難しく感じるのかを知ることができ、それをチュートリアルの時間に生かすようにした。英語学習者として、第二言語の学習において通ずるものもあり、とても興味深かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
SOC324 Sociology of Immigration	社会学:移民の社会学
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Grace Sementilli
授業内容	アメリカの移民の歴史について学ぶ。人種による差別や低賃金での労働、メキシコからの不法移民など、幅広く学ぶ。
試験・課題等	毎回の授業で扱う文献のリーディング、グループプレゼン、期末レポート
感想を自由記入	この移民の授業は、アメリカに留学する中で最も取りたい授業の一つだった。移民がアメリカで暮らすことで経済が成長してきたこと、移民が多く暮らすことが理由で地域の犯罪率が上がるという考え方は誤解であるということなど、知らなかったことが学べた。またアメリカの多文化社会とは何か、という大きなテーマを掴むことができたと感じている。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
PUB101 Introduction to Public Health	公衆衛生:公衆衛生の導入
科目設置学部・研究科	Public Health
履修期間	Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Adam Graczyk
授業内容	アメリカの公衆衛生について学ぶ。
試験・課題等	毎週の小テスト、授業内の簡単なレポート
感想を自由記入	公衆衛生をこうしてしっかりと学ぶことは初めてだったが、導入レベルだったので大丈夫だった。公衆衛生と医療の違いについて学び、アメリカにおいてどのような役割を果たしているかの理解を深めるとともに、日本との制度の違いを比較することができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
ECO205 Money and Banking		経済: お金と銀行
科目設置学部・研究科	Economics	
履修期間	Spring	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Yong Yin	
授業内容	お金と銀行の役割、仕組みについて学ぶ。	
試験・課題等	クイズが 10 回、小テストが 2 回、期末テスト 全て選択式	
感想を自由記入	お金と銀行の仕組みについて、簡単なレベルから学べるため、専攻が違ってもついていけた。インフレ、為替など、現在世界的に経済が揺れ動く中で、アメリカの銀行の制度を学べるため、ためになるものだったと思った、	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
EVS118 Intro Envir & Sustain Studies		環境とサステナビリティ
科目設置学部・研究科	Environmental Sustainability	
履修期間	Spring	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Marisa Manheim	
授業内容	アメリカの環境問題や、企業が取り組んでいることなどを学ぶ。また世界的な社会課題についても取り上げる。	
試験・課題等	毎週の Inquisitive、リーディング、テスト 3 回、ペアでのプレゼン	
感想を自由記入	世界の環境問題について詳しく学ぶことができた。その中で日本の大地震や福島第一原発の事故などの例が取り上げられることもあった。一番驚いたこととして、アメリカの学生は SDGs を知らない人が多いということ。各国の環境問題への取り組み方の違いについて理解ができた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
JPN 451Teachng Japanese As Foreign Language		日本語:日本語のティーチング
科目設置学部・研究科	Linguistics	
履修期間	Spring	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 4 回	
担当教授	Chihiro Aoki	
授業内容	チュートリアルの参加、交流会の参加	
試験・課題等	期末レポート	
感想を自由記入	チュートリアルでは生徒の日本語上達のために練習に付き添ったり、一緒に日本語の教育カードゲームなどをして、できるだけ優しい日本語を使った活動を心がけた。交流会では、毎回反省点を洗い出し、生徒が楽しめるテーマ、アクティビティを企画することが楽しかった。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☐未定 ☒その他: インターンシップに参加する予定

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	大学入学
	8 月 ～ 9 月	TOEFL 勉強、受験(2 回)
	10 月 ～ 12 月	協定留学出願
留学開始年	1 月 ～ 3 月	UB に書類提出
	4 月 ～ 7 月	VISA 申請、ワクチン接種
	8 月 ～ 9 月	渡航
	10 月 ～ 12 月	秋学期→冬休み
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	春学期
	4 月 ～ 7 月	春学期終了→帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がアメリカを選んだ主な理由は、多文化社会であるということでした。本当にその通りで、学校にも、地域にも、いろいろな人種があり、宗教がありました。ニューヨーク州だからという理由なのか、どれか一つの人種が圧倒的に多いと感じることも少なかったように思います。

長期間こうして海外で生活することが初めてだったので、最初はいろいろなことに驚き、周りの少し異常に感じる環境が、アメリカでは普通のこと、我慢しなくてはいけないことなのか悩むこともありました。その例として、私は最初アパートで他 3 人と暮らしていたものの、自由奔放な彼女らに、とてもストレスを抱えていました。結局耐えきれず、10 月頭に寮へ引っ越すことを決め、11 月頭に正式に移りました。留学生活を送る中で、ルームメイトや友達関係など、居心地の悪さというものを感じたとき、これがこっちの文化なのか、人として非常識な人たちなのかという見極めはとても大切だと思います。最初は意見をはっきり言えないことも、悩みが解決しない理由の一つでした。ただ、暮らしているうちに、意見が言えるようになりますし、居心地の良い友達も見つかります。

大学選びとしては、規模の大きい大学、小さい大学があると思います。ニューヨーク州立大学バッファロー校は比較的大きく、大きなスポーツ施設が充実していたり、キャンパス内をシャトルバスが走っていたりします。また年に 2 回移動式遊園地が開催されるなど、ほか小さいものも含めイベントが豊富でした。しかし、その分“Student fee”や“Activity fee”、“Transportation fee”など「その他」の費用として何十万円と支払う必要がありました。私はそのような情報が事前に知れたら良かったと思ったので、これから留学先を探す方は、ホームページから調べてみるといいかもしれません。

最後に、留学で得ることは語学だけではなく、自信がついたり、広い視野が得られたりと、将来へ活かせるものがたくさん得られます。留学先は、第一言語が英語ではない国に行くのも面白いかもしれません。給付型の奨学金も充実しています。今迷っている方もぜひ挑戦してみてください！

